

経営比較分析表

和歌山県 日高川町

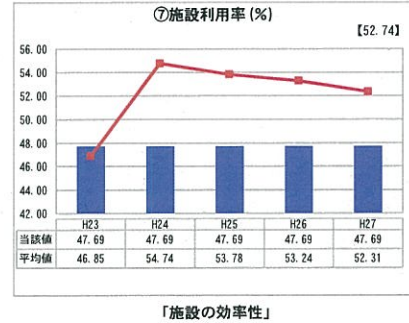
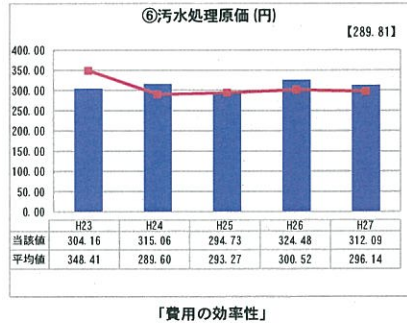
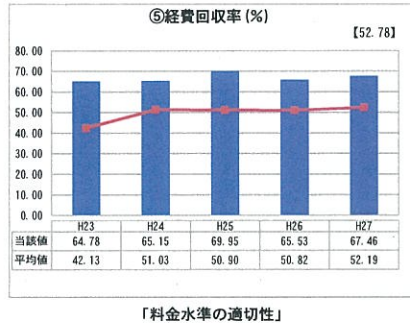
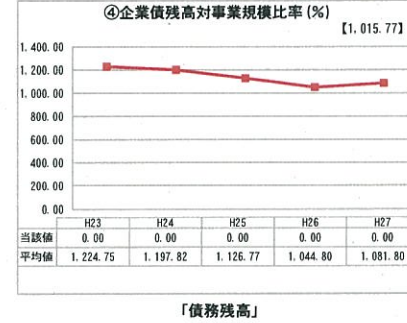
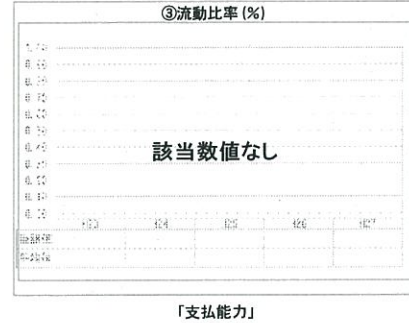
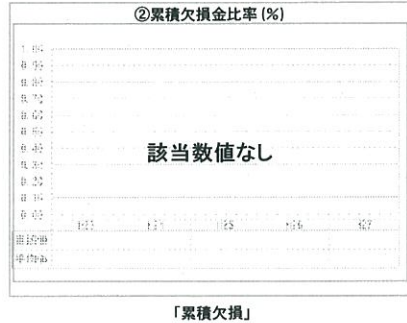
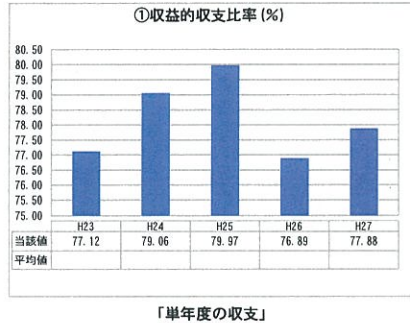
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	
-	該当数値なし	31.83	100.00	4,000

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,279	331.59	31.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,259	0.96	3,394.79

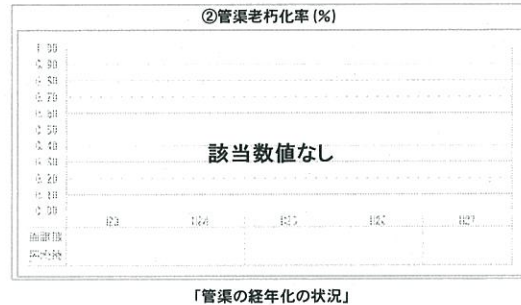
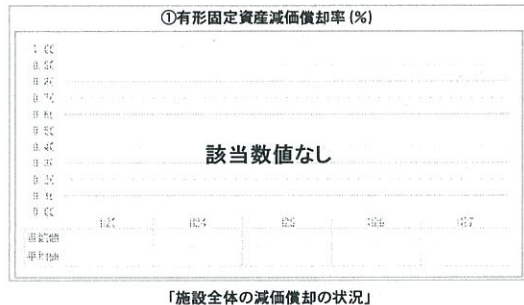
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

下水道会計(農業集落排水)においては、現状総収益を総費用及び地方債償還金が上回っており、そのため一般会計からの基準外繰入を行い、下水道事業の経営を行っている状況が続いている。

また経費回収率を見ると汚水処理に係る費用を使用料金で賄えていないことから、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要である。特に汚水処理原価は全国平均及び類似団体平均と比較しても割高となっていることから、汚水処理費の削減に努める。

加えて、水洗化率についても向上しているが、本町が類似団体平均値を下回っている状況であることから、更なる接続率向上の推進及び利用状況の改善を図って行かなければならない。

2. 老朽化の状況について

現在、処理施設については、供用開始後20年を経過した施設は無い。ただ管渠については、供用開始から20年程度経過した箇所がある。まだそれぞれ耐用年数には到来していないが、将来的には更新・修繕費用が増加していくことが見込まれるため、計画的に状況調査し、必要な箇所の更新・修繕を行っていく必要がある。

全体総括

収益的収支比率を改善することを目標に次の取組を行う。水洗化率の向上(100%加入を目標とする。)及び下水道使用料金の見直しを行い、収益を増やす。また、今後施設及び機器の修繕費用が高額になると考えられるが、出来る限り汚水処理費を下げ(委託料及び汚水処理費の経費削減)

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。